

# “大切な花”を咲かせよう

保育所等訪問支援通信NO. R2-1



桜がきれいに咲き誇る中、ときどき・わくわくの新年度がスタートしました。新しい1年の始まりには不安も付き物ですが、先生方と一緒に子どもたちの成長を応援していきたいと思えます。今年度もどうぞ宜しくお願い致します。今年度の通信のテーマは『生活動作』です。これまでの訪問の中で数多く上がった生活動作の練習方法をお伝えしていきます。子どもたちが「できない…」と感じているその裏には“要因”があります。その要因とお子さんの発達段階を捉えながらスモールステップで取り組み、将来に役立つ『生活動作』を楽しく伸ばしてあげたいですね！



## 苦手、不器用に繋がる 5つの要因を知ろう！

### ① “両手がうまく使えない”

右利きの子どもの場合、ご飯を食べるときに左手でうまく茶碗を持っていないなどがあげられます。

### ② “感覚の未発達”

全身や指先などの皮膚や関節または筋肉から、感覚情報を受け取る機能が上手く働いていない状態です。感覚過敏や感覚の鈍さもその1つです。

### ③ “力のコントロールが苦手”

椅子に座っている時に姿勢が崩れやすい、物を力任せに扱うため壊しやすい子どもの中には、体や関節が柔らかい場合や硬い場合があります。筋肉や関節からの感覚情報が伝わりづらく、力の調整が難しくなることがあります。

### ④ “ものを見る力が弱い”

視力だけでなく、視線を上手く動かしたり目で形を捉えたり、物と物の位置関係を認知するなどの力が未発達であることが要因であると考えられます。

### ⑤ “体のイメージが捉えにくい”

自分の体の大きさや周囲の物との関係性を把握し、どのように体を動かしたらうまく道具を操作できるのかを想像する力が未発達な状態にあると言えます。

★これらの要因は、1つずつ独立しておらず、お互いに強い関連性があります。苦手なことをただ繰り返し練習するのではなく、子どもの不器用さの要因を把握し、適切な介助を行っていきましょう！

## “ボタンの掛け外し”

まずは楽しみながら力を伸ばしましょう！貯金箱に硬貨を掴んで入れたり、ビーズ通したりする遊びは、ボタン動作の要素を含んでいます。手作りボタン通しをフェルトや厚紙で作って遊ぶのも良いです。要因の1つである“ものを見る力の弱さ”をサポートしながら、必要な力も伸ばしていきます。

### ボタンホールの向きにボタンを合わせる練習



大人が苦手さを作り出している場合もある？！

## ～ひと工夫と、動作のポイント～

- ボタンは大きめで、縁の厚いものが掴みやすいです。
- ボタンホールを少し大きく切り開くと、掛け外ししやすいです。
- ボタンをきつく縫い付けてある場合は、一度ボタンを外してボタンの縫い糸を長くして付け直し、ボタンを動かしやすいします。
- 穴が見えにくいと掛け外ししにくいので、ボタンホールの周りを布地と異なる色の糸で一周巻くと見やすくなります。
- かけ違いが多い場合はボタンホールの周りにボタンと同じ色の糸を縫い付けます。一対ごとに違う色にすると見やすいです。
- 大人はボタンホールをしっかりと固定し子どもが集中してボタンを掛け外し出来るようにサポートしましょう。
- ボタンを穴に入れる動きが不十分な場合はまずは机の上に洋服を置いてチャレンジしてみましよう。



達成感を得ることで自信になり、一生懸命取り組むようになります！



《例：食事》スプーンやフォークが上手く使えない、食べ溢しが多い、丸飲みしている、食意欲が持てない、姿勢が崩れる、遊び食べをする等… →支援者から見ると「子ども自身に原因がある」ように映ります。

★確認してみよう★  
・発達段階に合った道具かな？  
・机や椅子の高さは合っているかな？  
・排便リズムは整っているかな？  
・周囲に気を取られやすいものは置いていないかな？等…  
一人ひとりの子どもの生活状況や発達状況を把握し、環境を見直したり、適切な道具を選択することも重要です。

参考書籍：「発達に気になる子への スモールステップではじめる生活動作の教え方」 鴨下賢一 著



吉岡かよ



大柴知子



田切美紀



児童発達支援センター つづが崎学園

地域支援事業部 保育所等訪問支援

〒400-0013

山梨県甲府市岩窪町614番地

Tel 055-251-7678

Fax 055-251-7679

Mail ooshiba@tutuji.or.jp

担当：吉岡かよ 大柴知子 田切美紀